



大開孔率パンチング技術を利用した製品例

ステンレス鋼開孔率90%

奥谷金網、強度保ち軽量化

【神戸】奥谷金網製作所（神戸市中央区、奥谷智彦社長、078・351・2531）は、ステンレス鋼の大開孔率パンチング技術「X-OPEN AREA PUNCHING」を開発した。板厚約1mm、1.5mm以上のステンレス鋼で開孔率を80~90%に高めた。適度な強度を保った上で軽量化した。同技術を活用した製品の受注を今夏から始める。補強材、内外装意匠デザイン、スピーカーカバーなどの需要を見込む。

補強材・内外装など向け

新技術は独自の「スチール」を応用。金型設計の1パーパンチング加工法で

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞

4月14日火曜日
2020年（令和2年）

TODAY

09 ステンレス鋼、開孔率90%
奥谷金網

弊社の大開孔率パンチング技術

「X-OPEN AREA PUNCHING」

開発の記事が紹介されました!!

開孔率80~90%を実現した。孔と孔の隙間の寸法は板厚の約半分、極狭ピッチにした。通常のパンチングの開孔率は20~40%、丸孔・角孔が60%前後、六角形が70%前後が限界の目安と言われている。

開孔面積が広がることで流れやすくなる。同開孔率では通常、金網溶接になるが、新技術を利用した製品は1枚の板材を加工するため次工程の溶接や曲げの加工がしやす。織金網特有の針金のほつれ処理の不安や手間もないという。製品の孔形は丸孔、角孔、六角形に対応。3種類の孔径は5mm、8mm、10mm、15mmのサイズの受注から始める。今後は鉄やアルミニウム、熱可塑性炭素繊維強化プラスチック（CFRTP）の素材も対応させていく。同技術の基になったスーパーパンチング技術は板厚より小孔径のプレスが可能で高耐久、高耐久、長寿命なのが特徴。さらに小さい穴を打ち抜く「超スチール」も開発した。

奥谷金網製作所は総合金網・パンチングメーカ。2019年には東レプラスチック精工（東京都中央区）などと共同で、CFRTPシートを網状に加工する技術を開発している。

総合金網・パンチングメタルメーカー 1895
株式会社 奥谷金網製作所



2020年4月14日

- 神戸本社 〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町4丁目5-5 TEL (078) 351-2531 / FAX (078) 361-1484
- 姫路営業所 〒760-0825 兵庫県姫路市市川橋通2丁目50-3 TEL (079) 288-0458 / FAX (079) 288-2077
- 東京営業所 〒110-0016 東京都台東区台東4丁目29-15-305 TEL (03) 5812-7795 / FAX (03) 5812-7796
- 明石工場 〒651-2124 兵庫県神戸市西区伊川谷町(神戸鉄工団地内) TEL (078) 974-1907 / FAX (078) 974-1959
- 堺工場 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上460 TEL (072) 361-9121 / FAX (072) 361-9122
- シカゴ事務所 Illinois, U.S.A. / □ デュッセルドルフ事務所 Düsseldorf, GERMANY

<https://www.okutanikanaami.co.jp>

奥谷金網 | 検索

